令和５年度（2023年度）

学　生　募　集　要　項

（帰　国　生　徒　選　抜）

宮　崎　大　学

宮崎大学の教育理念とアドミッション・ポリシー（入学者受入・選抜の方針）

教育理念

宮崎大学は、「世界を視野に地域から始めよう」のスローガンのもとに、人類の英知の結晶としての学術・文化に関する知的遺産の継承と発展、深奥なる学理の探究、地球環境の保全と学際的な生命科学の創造を目指し、変動する社会の多様な要請に応え得る人材を育成することを教育の理念として掲げています。本学では、これらの理念を具現化するために、以下の教育目標を掲げ充実した教育に取り組んでいます。

1．人間性の教育
　高い倫理性と責任感を育むとともに、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養する。

2．社会性・国際性の教育
　地球規模の視野に立ち、社会の多様な要請に対応して、柔軟で論理的な思考力をもって、社会の発展に積極的に貢献できる社会性・国際性を涵養する。

3．専門性の教育
　新たな知の創造につながる専門教育を実施し、獲得した知識・技能を総合的に活用して、自ら発見した課題に適用し、解決する創造的思考力や態度を育成する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入・選抜の方針）

宮崎大学では、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）及びカリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）に掲げた、社会の発展に積極的に貢献する人材の育成を目指しています。そのため、以下の「求める学生像」に示す、知識・技能、思考力、及び意欲を持った人を国内外から積極的に受け入れます。

【求める学生像】

1．本学の教育理念に共感し、入学後の学修に充分対応できる基礎的な知識・技能を有する人
2．身に付けた知識・技能を応用して問題を解決する上で必要となる思考力を有する人
3．身に付けた知識・技能及び思考力を地域社会や国際社会において自ら積極的に活用し、その発展に貢献する意欲を持った人

【入学者選抜の基本方針】

1．求める学生像に沿って、多様な入学者選抜方法により多面的・総合的に選抜する。
2．客観的で透明性のある方法によって、公平に選抜する。

宮崎大学ではこのような教育理念を各学部、学科、課程において達成するために、それぞれアドミッション･ポリシー（入学者受入・選抜の方針）を掲げています。

したがって、本学に入学を希望する人は、基礎教育及び学部専門教育の内容や各学部、学科、課程のアドミッション・ポリシーを十分に理解した上で志願してください。

令和５年度（2023年度）入学試験日程

	帰国生徒選抜
学部	教育学部・農学部（獣医学科を除く）
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ出願 登録期間	令和４年（2022年）10月25日（火）　～　11月４日（金）
出願期間	令和４年（2022年）11月１日（火）　～　11月４日（金）
試験日	令和４年（2022年）11月25日（金）
合格者発表	令和４年（2022年）12月９日（金）
入学手続期間	令和５年（2023年）２月20日（月）17時まで（必着） ※原則郵送

【重要】

今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、この募集要項に記載している選抜方法とは異なる方法で実施することがあります。また、出願期間や試験日等についても今後変更することがあります。変更することを決定した場合は、直ちに本学ホームページ上でお知らせします。

目　　次

１．　学部のアドミッション・ポリシー　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

２．　実施する学部（学科・課程）及び募集人員　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8

３．　出願資格　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8

４．　出願手続　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

５．　受験票の印刷　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

６．　選抜方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

７．　試験日程及び試験場　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

８．　受験上の注意事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

９．　不正行為について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

10．新型コロナウイルス感染症への対応及び留意点　・・・・・・・・・・・・・・・・17

11．合格者発表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

12．入学手続等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

13．個人情報の取扱いについて　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21

14．入学試験成績の情報開示　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22

15．試験場配置図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23

１．学部のアドミッション・ポリシー

（1）教 育 学 部

<table>
<tr><th colspan="2">課程・コース</th><th>課程・コースのアドミッション・ポリシー</th></tr>
<tr><td rowspan="5">学校教育課程</td><td rowspan="5">小中一貫教育コース</td><td>小中一貫教育コースでは、児童・生徒の長期にわたる発達過程を見通す見識、児童・生徒への深い理解力、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身に付けた教員の養成を目標としています。</td></tr>
<tr><td>１．求める学生像</td></tr>
<tr><td>小中一貫教育コースでは、小学校・中学校・小中一貫校の教員等を目指す教職への意欲にあふれ、教職に必要なたしかな知識・技能(以下、「知識・技能」)について研鑽を積み、教育課題を解決するために必要な思考力（以下、「思考力」）、児童・生徒への適確な指導に資する表現力（以下、「表現力」）と学校現場で生きる協調性（以下、「協調性」）をもち、それらを高めるべく努力を怠らない人材を求めています。</td></tr>
<tr><td>２．入学者選抜の基本方針</td></tr>
<tr><td>1）一般選抜（前期日程・後期日程）
高等学校までに修得した基礎的学力と得意とする教科についての大学の学修で必要となる発展的学力について、大学入学共通テストと個別学力検査、面接によって、「教職への意欲」、「知識・技能」、「思考力」、「表現力」を総合的に判断します。
2)a 学校推薦型選抜（小学校主免専攻、宮崎県教員希望枠）
高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入学共通テストを課した上で、面接、小論文、推薦書・調査書・志望理由書によって多様な能力を総合的に判断します。
面接では「教職への意欲」、「思考力」、「表現力」、「協調性」について評価します。
小論文では「教職への意欲」、「思考力」、「表現力」について評価します。
推薦書、調査書、志望理由書では「教職への意欲」、「知識・技能」について評価します。
2)b 学校推薦型選抜（中学校主免専攻）
高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入学共通テストを課した上で、面接、小論文、推薦書・調査書・志望理由書によって多様な能力を総合的に判断します。
面接では「教職への意欲」、「知識・技能」、「協調性」について評価します。
小論文では「教職への意欲」、「思考力」、「表現力」について評価します。
推薦書、調査書、志望理由書では「教職への意欲」、「知識・技能」について評価します。
3）総合型選抜（中学校主免専攻）音楽・美術・保健体育
得意とする教科を有し、入学後もその教科を専修とすることを希望する者に対し、大学入学共通テストを課さないかわりに、面接、小論文、各教科の定める個別審査、自己推薦書、志望理由書、実技・活動等に関する調書によって多様な能力を総合的に判断します。
面接、自己推薦書、志望理由書及び実技・活動等に関する調書では「教職への意欲」、「知識・技能」、「思考力」、「表現力」、「協調性」について評価します。
各教科の定める個別審査では、「知識・技能」、「思考力」、「表現力」、「協調性」について評価します。
4）帰国生徒選抜
帰国生徒に対し、小論文、面接によって、「教職への意欲」、「知識・技能」、「思考力」、「表現力」、「協調性」を評価します。</td></tr>
<tr><td>３．入学までに身に付けてほしいこと</td></tr>
<tr><td>高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの教科に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、「思考力」、「表現力」、「協調性」など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="2">課程・コース</th><th>課程・コースのアドミッション・ポリシー</th></tr>
<tr><td rowspan="6">学校教育課程</td><td rowspan="6">教職実践基礎コース</td><td>教職実践基礎コースでは、幼児期から青年期にわたる長期の発達過程を見通した上で、幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校に共通する教職に関する高い専門性を持ち、現代の教育課題に多角的に対応できる教員の養成を目標としています。</td></tr>
<tr><td>１．求める学生像</td></tr>
<tr><td>教職実践基礎コースでは幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校における教育に対して熱意を持って取り組み、教科全般に関わる基礎学力、また、得意とする分野の学力や技能（以下、「知識・技能」）を有し、これらを教育実践に活用しようとする教職への意欲を持っている人、現代の教育課題に対応するために、幅広い学問や文化を意欲的に学び、広い視野を身に付け、それを幼児教育・初等教育・中学校教育・小中一貫教育に生かす思考力・表現力（以下、「思考力・表現力」）を持っている人、また、学び続ける喜びを幼児・児童・生徒と共有したいと考え、宮崎県をはじめとする地域に根ざす学校づくりの有力な一員となる協調性（以下、「協調性」）を持っている人を求めています。</td></tr>
<tr><td>２．入学者選抜の基本方針</td></tr>
<tr><td>1）一般選抜（前期日程）
高等学校までに修得した基礎的学力と得意とする教科についての大学の学修で必要となる発展的学力について、大学入学共通テストと個別学力検査、面接によって、「教職への意欲」、「知識・技能」、「思考力」、「表現力」を総合的に判断します。
2）学校推薦型選抜（宮崎県教員希望枠）
高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入学共通テストを免除する代わりに、面接、小論文及び出願書類（推薦書、調査書及び志望理由書）によって、宮崎県の教員をめざし、地域に根ざす学校づくりの有力な一員となる意欲と、現代の教育課題に対応するために他者と協力して課題解決しようとする意欲を持つ人を受け入れるために、多様な能力を総合的に判断します。
面接では「教職への意欲」、「協調性」、「思考力」、「表現力」について評価します。
小論文では「知識・技能」、「思考力」、「表現力」について評価します。
推薦書・調査書では「教職への意欲」、「知識・技能」、「思考力」、「協調性」について評価します。
志望理由書では「教職への意欲」、「表現力」について評価します。
3）帰国生徒選抜
帰国生徒に対し、小論文、面接によって「教職への意欲」、「知識・技能」、「思考力」、「表現力」、「協調性」を評価します。</td></tr>
<tr><td>３．入学までに身に付けてほしいこと</td></tr>
<tr><td>高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの教科に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、「思考力」、「表現力」、「協調性」など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="3">課程・コース</th><th>課程・コースのアドミッション・ポリシー</th></tr>
<tr><td rowspan="8">学校教育課程</td><td rowspan="8">発達支援教育コース</td><td rowspan="4">子ども理解専攻</td><td>子ども理解専攻では、幼児期から児童思春期にわたる子どもの心理、発達過程を見通す深い見識と理解力、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身に付けた教員の養成を目的としています。</td></tr>
<tr><td>１．求める学生像</td></tr>
<tr><td>子ども理解専攻では、幼児期から児童思春期の子どもの教育に対する意欲にあふれ、教職に必要なたしかな知識・技能(以下、「知識・技能」）について研鑽を積み、目標に向けて強い意志と行動を貫くことができる思考力・主体性（以下、「思考力・主体性」）、児童・生徒への適確な指導に資する表現力（以下、「表現力」）と学校現場で子どもと保護者と信頼関係を築き、同僚と協力して問題に取り組んでいける対人関係能力（以下、「協調性」）を身に付けるための努力を怠らない人材を求めています。</td></tr>
<tr><td>２．入学者選抜の基本方針
1）一般選抜（前期日程）
高等学校までに修得した基礎的学力と得意とする教科についての大学の学修で必要となる発展的学力について、大学入学共通テスト、個別学力検査、面接によって、「教職への意欲」、「知識・技能」、「思考力・主体性」、「表現力」、「協調性」を総合的に判断します。
大学入学共通テストと個別学力検査では、「知識・技能」、「思考力」について評価します。
面接では「教職への意欲」、「知識・技能」、「思考力・主体性」、「表現力」、「協調性」について評価します。
2）学校推薦型選抜
高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入学共通テストを課した上で、面接、推薦書・調査書・志望理由書によって多様な能力を総合的に判断します。
面接では「教職への意欲」、「思考力・主体性」、「協調性」、「表現力」について評価します。
推薦書・調査書では「教職への意欲」、「知識・技能」について評価します。
志望理由書では「教職への意欲」、「表現力」について評価します。
3）帰国生徒選抜
帰国生徒に対し、小論文、面接によって「教職への意欲」、「思考力・主体性」、「表現力」、「協調性」を評価します。</td></tr>
<tr><td>３．入学までに身に付けてほしいこと
高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの教科に関する基礎学力を十分身に付けておくことが望まれます。また、「思考力・主体性」、「協調性」など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人コミュニケーション能力を身に付けておくことが望まれます。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">特別支援教育専攻</td><td>特別支援教育専攻では、障害のある児童・生徒それぞれの発達や特徴を捉える見識と深い児童・生徒理解力を持って初等教育を施すことができ、その上で障害に基づく種々の課題や困難を改善または克服するのに必要な知識、技能、態度及び習慣を養うための指導ができる特別支援学校教員の養成を目的としています。</td></tr>
<tr><td>１．求める学生像</td></tr>
<tr><td>特別支援教育専攻では「特別支援教育に対する意欲」を持って取り組み、「特別支援教育に関する学修に十分対応できる基礎学力や基礎技能（以下、「知識・技能」）」を有し、「目標達成に向けて強い意志と行動を貫くことができる思考力・表現力（以下、「思考力・表現力」）」、「愛情豊かに他者を思いやることができる協調性（以下、「協調性」）」を持つ人、また、「学修を通して獲得した知識・技能・行動力を教育現場に還元するための粘り強く創意工夫する力や向上心（以下、「創意工夫・向上心」）」を有している人材を求めています。</td></tr>
<tr><td>２．入学者選抜の基本方針
1）一般選抜（前期日程）
高等学校までに修得した基礎的学力と特別支援教育に関する大学での学修で必要となる発展的学力について、大学入学共通テスト、個別学力検査、面接によって、「特別支援教育に対する意欲」、「知識・技能」、「思考力・表現力」、「協調性」、「創意工夫・向上心」を総合的に判断します。
大学入学共通テスト及び個別学力検査では、「知識・技能」、「思考力・表現力」について評価します。
面接では、「特別支援教育に対する意欲」、「思考力・表現力」、「協調性」、「創意工夫・向上心」について評価します。
2）学校推薦型選抜
高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入学共通テストを課さず、小論文、面接、推薦書・調査書によって多様な能力を総合的に判断します。
小論文では、「知識・技能」、「思考力・表現力」について評価します。
面接では、「特別支援教育に対する意欲」、「思考力・表現力」、「協調性」、「創意工夫・向上心」について評価します。
推薦書・調査書では、「特別支援教育に対する意欲」、「知識・技能」について評価します。
3）帰国生徒選抜
帰国生徒に対して、小論文、面接によって、「特別支援教育に対する意欲」、「知識・技能」、「思考力・表現力」、「協調性」、「創意工夫・向上心」を総合的に判断します。</td></tr>
<tr><td>３．入学までに身に付けてほしいこと
高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの教科に関する基礎的学力を十分身に付けておくことが望まれます。また、「協調性」など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。</td></tr>
</table>

（2）農 学 部

学科	学科のアドミッション・ポリシー
植物生産環境科学科	**1．求める学生像** 植物生産環境科学科では、農学に関する基礎知識の修得や安全・高品質な農・園芸作物の安定供給、生産環境の改善、環境調和型農業の実現に対して熱意を持って取り組み、植物生産環境科学分野における課題解決能力をもち、学修を通して獲得した国際的視点、知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる人材の育成を目標としています。 そこで、植物生産環境科学科では次のような人材を求めています。 1．自然環境に配慮した農業生産や自然科学に対する関心をもっている人（学問への関心） 2．大学での学修の基盤となる幅広い知識や理科の基礎学力をもっている人（知識・理解） 3．自然科学をはじめ、世の中の様々な事柄をよく観察して深く考察し、それを表現する力をもっている人（思考力、表現力） 4．学業をはじめ、学校内外の活動に、積極的に取り組むことができ、国際的な視野と責任感をもっている人（主体性） 5．学業や学校内外の活動をはじめ、様々な場面において、他者との協力を厭わない人間性をもっている人（協働性）
	2．入学者選抜の基本方針 1）一般選抜（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学修で必要となる発展的な学力について、大学入学共通テストと個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。 調査書によって、学問への関心、主体性、協働性について評価します。 2）学校推薦型選抜 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入学共通テストを免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では学問への関心、知識・理解、思考力、主体性、協働性について評価します。 書類審査では調査書、推薦書、志望理由書を審査します。それによって、学問への関心、知識・理解、表現力、主体性、協働性について評価します。 3）帰国生徒選抜 帰国生徒に対し、小論文、面接、出願書類によって、学問への関心、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協働性を評価します。 4）社会人選抜 社会人に対し、面接、出願書類によって、学問への関心、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協働性を評価します。 5）私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、日本留学試験、小論文、面接、出願書類によって、学問への関心、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協働性を評価します。
	3．入学までに身に付けてほしいこと 理科、数学、英語以外にも、国語や社会など、高校で履修する教科・科目について偏りなく勉強しておく必要があります。また、主体性、協調性など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。
森林緑地環境科学科	**1．求める学生像** 森林緑地環境科学科では、森林・緑地の機能に関する基礎的・応用的知識と国際的視点や課題解決能力、自然環境や国土保全及び水資源利用に関する基礎的・応用的知識、樹木・菌類及び非生物材料の特性に関する基礎的・応用的知識、多機能型森林緑地管理に関する基礎的・応用的知識と計画・実行力、環境と調和した材料の開発力と緑化の実践力を身に付けた人材の育成を目標としています。 そこで、森林緑地環境科学科では次のような人材を求めています。 1．森林・緑地の諸問題の解決に向けて熱意を持って自ら取り組む人（主体性） 2．森林・緑地に関連する自然科学と社会現象に幅広い興味と探求心を有する人（学問への関心） 3．環境問題をはじめ、世の中の様々な事柄をよく観察して深く考察し、その結果を表現する力を有する人（思考力、表現力） 4．大学での学修の基盤となる幅広い知識や言語力、森林・緑地に関する基礎学力を有する人（知識・理解） 5．様々な活動において他者と協力しながら課題解決を図るとともに、自らの能力を社会の一員として地域・世界に還元する情熱と責任感を有する人（協働性）
	2．入学者選抜の基本方針 1）一般選抜（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と大学の学修で必要となる発展的な学力について、大学入学共通テストと個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。 調査書によって、主体性、協働性、学問への関心について評価します。 2）学校推薦型選抜 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入学共通テストを免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では主体性、知識・理解、思考力、学問への関心、協働性について評価します。 書類審査では調査書、推薦書、志望理由書を審査します。それによって、主体性、知識・理解、学問への関心、表現力、協働性について評価します。

学科	学科のアドミッション・ポリシー
森林緑地環境科学科	3）総合型選抜 高等学校での学業成績が優秀なだけでなく様々な活動を積極的に行った者に対して、大学入学共通テストを免除する代わりに、書類審査（調査書、自己推薦書、活動報告書）、模擬講義等の受講及びレポートの作成及び個人面接によって多様な能力を総合的に判断します。 調査書では、知識・理解、主体性、協働性について評価します。 自己推薦書及び活動報告書では、主体性、協働性、学問への関心について評価します。 模擬講義の受講及びレポート作成では、思考力、表現力、学問への関心について評価します。 個人面接では、主体性、協働性、思考力、表現力、学問への関心について評価します。 4）帰国生徒選抜 帰国生徒に対し、小論文、面接、出願書類によって、思考力、表現力、主体性、知識・理解、学問への関心、協働性を評価します。 5）社会人選抜 社会人に対し、面接と出願書類によって、知識・理解、主体性、協働性、思考力、表現力、学問への関心を評価します。 6）私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、日本留学試験、小論文、面接、出願書類によって、知識･理解、思考力、表現力、協働性、主体性、学問への関心を評価します。
	３．入学までに身に付けてほしいこと
	理科、数学、英語以外にも、国語や社会など、高校で履修する教科・科目について偏りなく勉強しておく必要があります。また、大学での学修効果を高め、充実した学生生活を送るために、自ら興味を深め課題を発見する姿勢や、多様な意見を聞きながら多くの人と協力して課題解決をはかる態度も、あわせて身に付けておくことを望みます。
応用生物科学科	**１．求める学生像**
	応用生物科学科では動植物や微生物がもつ機能やその利用を化学的視点で思慮することができる、生物機能や食品機能に関する諸課題を論理的に考察できる、バイオサイエンス分野における課題解決能力と倫理観を有する、高いコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を有する、また、バイオサイエンス分野の先端的・独創的科学技術を応用して地域・国際社会に貢献できる人材の育成を目標としています。 そこで、応用生物科学科では次のような人材を求めています。 １．化学をはじめとする自然科学に対して強い興味と探求心をもっている人（学問への関心） ２．化学や生物などの理科（自然科学）や数学、英語などの基礎学力を備えている人（知識・理解） ３．自然科学をはじめ、世の中の様々な事柄をよく観察して深く考察し、それを表現する力をもっている人（思考力、表現力） ４．学業をはじめ、学校内外の活動に、積極的に取り組もうとする人（主体性） ５．学業や学校内外の活動をはじめ、様々な場面において、他者との協力を厭わない人間性をもつ人（協働性）
	２．入学者選抜の基本方針
	1）一般選抜（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と大学の学修で必要となる理数系科目についての発展的な学力について、大学入学共通テストと個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。 調査書によって、主体性、協働性、学問への関心について評価します。 2）学校推薦型選抜 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入学共通テストを免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では主体性、知識・理解、思考力、学問への関心、協働性について評価します。 書類審査では調査書、推薦書、志望理由書を審査します。それによって、主体性、知識・理解、学問への関心、表現力、協働性について評価します。 3）帰国生徒選抜 帰国生徒に対し、小論文、面接、出願書類によって、思考力、表現力、主体性、知識・理解、学問への関心、 協働性を評価します。 4）社会人選抜 社会人に対し、面接、出願書類によって、知識・理解、主体性、協働性、思考力、表現力、学問への関心を評価します。 5）私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、日本留学試験、小論文、面接によって、知識・理解、思考力、表現力、協働性、主体性、学問への関心を評価します。
	３．入学までに身に付けてほしいこと
	理科(特に化学・生物)、数学、英語以外にも、国語や社会など、高校で履修する教科・科目について偏りなく学習しておく必要があります。また、主体性、協働性など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。

学科	学科のアドミッション・ポリシー
海洋生物環境学科	**１．求める学生像** 海洋生物環境学科では、農学に関する基礎知識、水圏に関する専門的基礎知識と専門的知識を応用できる能力、環境と食糧生産の諸問題に関する分析力・解決能力、特に海洋環境学分野における課題解決能力を重視し、学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を海洋環境学分野の技術者として社会に還元することのできる人材の育成を目標としています。更に地域社会や国際社会で活躍できる能力を身に付けた人材の育成を目標としています。 そこで、海洋生物環境学科では次のような人材を求めています。 １．海洋生物や水圏環境の保全、水域生物の生産・利活用、水族の生理機能に深い興味を有している人（学問への関心） ２．海洋環境と生物生産の諸問題の解決に熱意もって取り組むことができる人（主体性） ３．実験や観察において深く考察し、その結果を表現する力がある人（思考力、表現力） ４．大学での学修の基盤となる幅広い知識や自然科学に関する基礎学力を有する人（知識・理解） ５．学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会の一員として地域・世界に還元することのできる人（協働性）
	２．入学者選抜の基本方針 1）一般選抜（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と大学の学修で必要となる発展的な学力について、大学入学共通テスト、個別学力検査によって、知識・理解、思考力及び表現力を総合的に評価します。 調査書によって、主体性、協働性及び学問への関心について評価します。 2）学校推薦型選抜 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入学共通テストを免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では、主体性、学問への関心及び知識・理解を評価します。 書類審査では推薦書、調査書、志望理由書を審査します。それによって、主体性、協働性、学問への関心及び知識・理解を評価します。 3）総合型選抜 高等学校での学業成績が優秀なだけでなく様々な活動を積極的に行った者に対して、大学入学共通テストを免除する代わりに、書類審査（調査書、自己推薦書、活動報告書）、模擬講義等の受講及びレポートの作成及び個人面接によって多様な能力を総合的に判断します。 調査書では、主体性、協働性及び学問への関心について評価します。 自己推薦書及び活動報告書では、主体性、協働性、学問への関心及び知識・理解について評価します。 模擬講義の受講及びレポート作成では、思考力、表現力、学問への関心を評価します。 面接では、主体性、学問への関心及び知識・理解を評価します。 4）帰国生徒選抜 帰国生徒に対し、面接と小論文、出願書類によって、主体性、協働性、学問への関心、思考力、表現力及び知識・理解を評価します。 5）社会人選抜 社会人に対し、面接と出願書類によって、主体性、協働性、学問への関心、思考力、表現力及び知識・理解を評価します。 6）私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験、出願書類によって、主体性、協働性、学問への関心、思考力、表現力及び知識・理解を評価します。
	３．入学までに身に付けてほしいこと 高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、海洋環境、海洋生物生産・増殖などの自然科学については、本を読むなどして知識を深めてください。また、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために、主体性、協働性、表現力などもあわせて身に付けておくことを望みます。
畜産草地科学科	**１．求める学生像** 畜産草地科学科では、農学に関する基礎知識、草地・飼料、家畜、資源・環境及び食料・畜産業・農村に関する基礎的・応用的知識・技能、専門分野に関する国際性と課題解決能力を身に付けた人材の育成を目標としています。 そこで、畜産草地科学科では次のような人材を求めています。 １．動植物に対する幅広い興味や関心を有する人（学問への関心） ２．大学での学修の基盤となる幅広い知識や生物、化学に関する基礎学力を有する人（知識・理解） ３．実験や観察において深く考察する能力を有し、その結果を表現する力をもっている人（思考力、表現力） ４．資源循環、環境の保全、家畜の福祉などに配慮した持続的な畜産業の構築に熱意をもって取り組むことのできる人（主体性） ５．学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会の一員として地域・世界に還元できる資質を有する人（協働性）
	２．入学者選抜の基本方針 1）一般選抜（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学修で必要となる発展的な学力について、大学入学共通テストと個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。 調査書によって、主体性、協働性、学問への関心について評価します。

学科	学科のアドミッション・ポリシー
畜産草地科学科	2）学校推薦型選抜 　高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入学共通テストを免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 　面接では主体性、協働性、学問への関心について評価します。 　書類審査では推薦書、調査書、志望理由書を審査します。それによって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心を評価します。 3）帰国生徒選抜 　帰国生徒に対し、面接、小論文、出願書類によって、表現力、主体性、協働性、学問への関心、知識・理解、思考力を評価します。 4）社会人選抜 　社会人に対し、面接と出願書類によって、主体性、協働性、学問への関心、知識・理解、思考力、表現力を評価します。 5）私費外国人留学生入試 　外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験、出願書類によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協働性、学問への関心を評価します。
	３．入学までに身に付けてほしいこと
	生物、化学、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、協調性など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。

２．実施する学部（学科・課程）及び募集人員

<table>
<tr><th colspan="2">学　部（学科・課程）</th><th colspan="2">コ ー ス ・ 専 攻</th><th>募集人員</th></tr>
<tr><td rowspan="5">教育学部</td><td rowspan="5">学 校 教 育 課 程</td><td rowspan="2">小中一貫教育コース</td><td>小学校主免専攻</td><td rowspan="5">各コース・専攻とも若干人</td></tr>
<tr><td>中学校主免専攻</td></tr>
<tr><td colspan="2">教職実践基礎コース</td></tr>
<tr><td rowspan="2">発達支援教育コース</td><td>子ども理解専攻</td></tr>
<tr><td>特別支援教育専攻</td></tr>
<tr><td rowspan="5">農 学 部</td><td>植物生産環境科学科</td><td colspan="2" rowspan="5"></td><td rowspan="5">各学科とも若干人</td></tr>
<tr><td>森林緑地環境科学科</td></tr>
<tr><td>応用生物科学科</td></tr>
<tr><td>海洋生物環境学科</td></tr>
<tr><td>畜産草地科学科</td></tr>
</table>

（注）入学後の教育は、一般選抜により入学した者と同様に行われます。

３．出 願 資 格

日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者であって、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けた者で、次の各号のいずれかに該当する者

（１）学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を外国又は日本において、令和３年（2021年）４月１日から令和５年（2023年）３月31日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者で、卒業（修了）時点から起算して過去４年間の内、外国において２年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者

㊟外国に設置されたものであっても日本の学校教育に準拠した教育を実施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けた者とはみなしません。

（２）外国において、国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE-Aレベル資格）のいずれかを令和３年（2021年）又は令和４年（2022年）に授与された者で、令和５年（2023年）３月３１日までに18歳に達する者

㊟GCE-Aレベル資格の必要な科目数・評価については、宮崎大学学び・学生支援機構入試課（0985-58-7138）までお問い合わせください。

４．出 願 手 続

本学では、インターネットを利用した出願を行います。入学を志願する者は、次の（１）～（５）により、手続きを行ってください。また、出願の流れ（12ページ）も参照してください。

インターネット出願登録後、入学検定料を支払い、（２）の提出書類を郵送又は持参することで、出願完了となります。（３）の受付期間内に提出書類の郵送がない場合、出願未完了（登録データは無効）となりますので、注意してください。

（１）インターネットを利用した出願情報の登録及び入学検定料の支払い

① インターネットによる出願情報の登録及び入学検定料17,000円（別途、払込手数料900円）の支払い（以下「インターネット出願登録」という。）が必要となります。
※個人成績開示を希望する場合は、開示手数料800円を入学検定料と併せてお支払いください。
＜インターネット出願登録サイト＞
https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/Internet-apply.html

② インターネット環境以外で事前準備が必要となる主な事項は、次のとおりです。

ア 入学検定料の支払い方法を確認してください。コンビニエンスストア、銀行、ＡＴＭ、クレジットカード及びネットバンキングのいずれかで支払い可能です。

イ 電子メールアドレスが必要となります。スマートフォン・携帯電話の電子メールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。（この電子メールアドレス宛に、出願情報登録完了等の確認メールを配信します。）

ウ 受験票及び写真票に使用する写真データが必要となります。上半身脱帽正面向き無背景で、直近３か月以内に撮影した100ＫＢ～５ＭＢサイズの jpg 又は png データをアップロードしてください。

エ Ａ４サイズの用紙が印刷できるプリンタ（モノクロ、カラーどちらでも可）が必要です。
印刷用紙は普通紙で構いません。（出願情報の登録内容を印刷することになります。）

オ （２）の出願書類のうち、「② 出願者が準備する必要提出書類」を用意してください。
書類の内容によっては、準備に時間を要する場合があります。

③ 自宅や在籍する学校・予備校等に、インターネット出願登録ができる環境が整っていない場合は、事前に、宮崎大学学び・学生支援機構入試課（0985-58-7138）まで相談してください。

※ インターネット出願システムの操作・登録方法等の詳細については、上記＜インターネット出願登録サイト＞をご覧いただくか、志願受付操作サポート窓口までお問い合わせください。
志願受付操作サポート窓口：0120-752-257（出願登録期間の9:00～20:00）

（２）提出書類

インターネット出願登録完了後、市販の角形２号封筒（240mm×332mm）に次の①及び②の書類等を入れて提出してください。

① インターネット出願登録サイトから登録・印刷（Ａ４サイズで印刷）

提出書類	摘　　要
出願確認票 （提出用）	インターネット出願登録及び入学検定料支払い後、印刷したもの。 ※「提出用」の出願確認票を提出してください。「確認用」の出願確認票ではありませんので、注意してください。
宛名ラベル	角形2号封筒の表面に宛名ラベルを貼り付けて、その封筒の中に提出書類を全て封入のうえ、提出してください。

② 出願者が準備する提出書類（提出書類の記入は、黒ボールペン又は黒ペンを使用してください。）

提出書類	摘　　要
身上記録	本学所定の様式（A4サイズ・1枚）に、本人自筆で記入してください。 様式は下記URLからダウンロードしてください。 https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/other/kikoku.html なお、農学部植物生産環境科学科において、TOEFL等の成績や有する資格を記入する場合は、その証明書（写し）を添付してください。
本人自筆の志望理由書	様式は任意ですが、必ず本人が自筆したものに限ります。 （A4サイズ・日本語で3,000字程度） **（注）農学部植物生産環境科学科志願者のみ**
卒業（修了）証明書 成績証明書 資格証明書等	次の①～⑤のいずれかを提出してください。 ① 出身高等学校の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書及び成績証明書**（出身高等学校長が作成したもの、原本に限る）** また、日本の高等学校又は中等教育学校に在学したことがある場合は、併せて在学高等学校長又は在学中等教育学校長の作成した所定の調査書又は成績証明書（原本に限る） なお、記載事項内容（科目名、成績等）が記号等で示されている場合は、必ずその説明文を付してください。 ② 国際バカロレア資格を取得した者は、その資格証書（写）及び最終試験６科目の成績評価証明書 ③ アビトゥア資格を取得した者は、成績の記載されている一般的大学入学資格証明書（写） ④ バカロレア資格を取得した者は、バカロレア資格証書（写）及びバカロレア資格試験成績証明書 ⑤ GCE-Aレベル資格を取得した者は、その成績評価証明書
国籍を証明する書類	次のいずれかを提出してください。 ① 住民票の写し（原本） ・日本国籍の場合は、本籍地の記載が必要です。 ・日本国籍以外の場合は、国籍と在留資格の記載が必要です。 ② パスポート（氏名、国籍、顔写真が分かるページのコピー） 日本国籍以外の場合は、在留カード等在留資格が記載されている書類も提出してください。
日本語訳	**外国語で作成された書類には、日本語訳を添付してください。**

（３）提出書類（出願書類）の受付期間

出願期間　令和４年（2022年）11月１日（火）から11月４日（金）

① 提出は原則、郵送とします。
ただし、出願期間の平日９時から17時まで持参可能です。

② 郵送の場合は必ず**簡易書留・速達**とし、入試課へ**期間内必着（17時必着）**とします。ただし、**期間内に到着しない場合は受理しませんので郵便事情を考慮して十分余裕をもって発送してください。**

③ インターネット出願登録期間については、令和４年（2022年）10月25日（火）～11月４日（金）17時までとしており、事前に登録可能です。

（４）提出方法及び提出先

① インターネット出願登録及び入学検定料支払い後にインターネット出願登録サイトから宛名ラベルを印刷してください。市販の角形２号封筒（240mm×332mm）にそれを貼り付け、（２）の提出書類を全て入れ、厳封のうえ **簡易書留・速達** で郵送してください。

② 提出書類のうち、**外国の学校又は機関が作成する書類で日本語以外の場合は、必ず日本語訳を添付してください。**

③ 提出書類に記入もれ、その他不備がある場合には受理しないこともありますので十分注意してください。

④ 提出先

〒889-2192　宮崎市学園木花台西１丁目１番地
宮崎大学学び・学生支援機構入試課
電　話：0985-58-7138
ＦＡＸ：0985-58-2865

（５）注意事項

① インターネット出願登録サイトにおいて出願登録を完了した後は、志望学科等の変更はできません。（それ以前であれば、インターネット出願登録サイトから変更できます。）

② 出願書類の不備なものは受け付けません。

③ 受付後の出願書類は返還しません。

④ 出願手続及び入学手続において不正な行為があった場合は、入学を取り消すことがあります。

⑤ **既納の検定料及び個人成績開示請求手数料は、以下の場合を除き、返還いたしません。**

ア．提出書類を郵送しなかった場合

※インターネット出願登録だけでは、出願手続きは完了しません。その後、入学検定料を支払い（３）の受付期間内に（２）の出願書類を全て郵送することで完了します。

イ．提出書類の不備や出願資格を満たさない等の理由により出願が受理されなかった場合

ウ．誤って二重に支払った場合

返還請求の方法

検定料返還請求願（様式は問いません。氏名（フリガナ）、入試区分、個人成績開示請求の有無、返還請求理由、現住所、電話番号、検定料返還先銀行口座情報（銀行名、支店名、口座種別、口座番号、口座名義（カタカナ））を明記したもの）を作成し、**以下宛へ令和５年（2023年）３月31日（金）（必着）までに**、速やかに郵送してください。なお返還にかかる手数料は、原則、志願者本人の負担とします。また、令和５年（2023年）４月１日以降に申し出られた場合、返還に応じることはできませんのでご了承ください。

○請求先　〒889-2192
宮崎市学園木花台西１丁目１番地
宮崎大学財務部財務課出納係　電話：0985-58-7122
（土曜日・日曜日及び祝日は除く）

出願の流れ

1 募集要項の確認

本学ホームページから「募集要項」をダウンロードし、自分が受験する学部・学科・課程の出願資格、出願期間、必要書類、試験日、受験科目等を確認します。

募集要項掲載URL
https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/

2 出願情報の入力

インターネットに接続しているパソコンから、画面の指示に従って以下の内容を入力します。

●入力内容
◎入試区分の選択◎志望学部・学科・課程、受験科目等の選択
◎個人情報の入力

インターネット出願登録サイト
https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/Internet-apply.html

3 出願情報の確認・修正

入力した出願情報を確認します。確認用の紙を印刷できますので、学校の先生や保護者の方が確認する場合も簡単です。

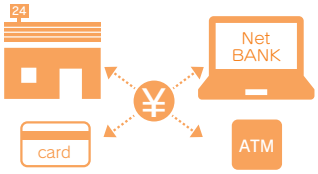
4 出願情報の登録

3で出願情報に修正がなければ、登録をします。
※登録後は出願情報の変更はできませんので、3で修正がないかよく確認してください。

5 検定料支払い方法の選択

検定料の支払い方法を選択します。

●支払い方法
◎クレジットカード ◎コンビニエンスストア
◎銀行ATM(ペイジー)◎ネットバンキング

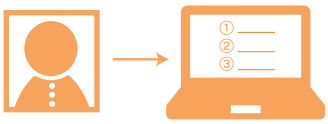


6 検定料のお支払い

選択した支払い方法に従って検定料を支払います。

7 写真データの登録

インターネット出願システムの「申し込み一覧」より写真データを登録します。

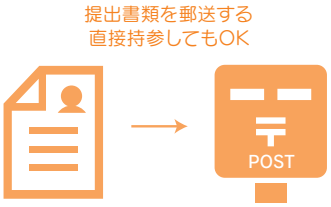


8 出願確認票等の印刷

出願確認票等を印刷します。

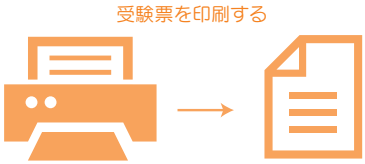
9 提出書類の郵送

出願確認票(8で印刷したもの)、調査書等提出が必要な書類を宮崎大学へ郵送又は持参し、出願完了です。



10 受験票の印刷

募集要項に記載している期日以降に、インターネット出願システムの「申し込み一覧」から受験票の印刷が可能となります。
A4用紙に印刷し、受験時に必ず持参してください。



インターネット出願システムの操作・登録方法等の詳細については、志願受付操作サポート窓口までお問い合わせください。
志願受付操作サポート窓口:0120-752-257(出願登録期間の9:00～20:00)

（６）障がい等のある入学志願者の事前相談

障がい等があり、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、出願書類提出前に宮崎大学学び・学生支援機構入試課へご相談ください。相談内容によっては本学において事前の準備を必要とする場合がありますので、できるだけ早急にご相談ください。

次表に相談例を示しますので参考にしてください。ただし、この相談例に限定するものではありません。

①相談期限

相談期限は、 令和４年（2022 年）10 月 14 日（金）までとします。

出願締切後に、不慮の事故のため受験上・修学上の配慮を必要とされる場合については、早急に宮崎大学学び・学生支援機構入試課へ連絡してください。

②相談方法

宮崎大学のホームページから相談申請書をダウンロードして、次の内容を記載し、医師の診断書等を添えて提出してください。（郵送可）

ア　志願者氏名・志望学部・学科
イ　障がい等の種類・程度
ウ　受験上・修学上の配慮を希望する事項
エ　出身学校でとられていた配慮事項
オ　日常生活の状況
カ　住所及び連絡先の電話番号

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者との面談等を行うこともあります。

※相談申請書ダウンロード先：https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/1789-2.html

③相談先

〒889-2192　宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学学び・学生支援機構入試課
電　話：0985-58-7138
ＦＡＸ：0985-58-2865
（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

相談例	
①視覚障がい	拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は困難なもの
②聴覚障がい	補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は困難なもの
③肢体不自由	１．肢体不自由により、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難なもの ２．肢体不自由により、常時の医学的観察指導を必要とするもの
④病弱	１．慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患により、医療又は生活規制を必要とするもの ２．身体虚弱により、生活規制を必要とするもの
⑤発達障がい	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等のため配慮を必要とするもの
⑥その他	①～⑤以外の者で配慮を必要とするもの

５．受験票の印刷

令和４年（2022年）11月14日（月）までに、インターネット出願システムの「申し込み一覧」から受験票の印刷が可能となります。Ａ４用紙に印刷し、受験時に必ず持参してください。

６．選抜方法

大学入学共通テスト及び個別学力検査を免除し、小論文、面接及び出願書類の結果を総合して選抜します。

実 施 方 法

学部	学科・課程	種別	所要時間等及び内容
教育学部	学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻 中学校主免専攻 教職実践基礎コース 発達支援教育コース 子ども理解専攻 特別支援教育専攻	小論文	1,000字程度　90分
		面　接	個人面接　30分程度 日本語能力、志望動機、本課程への適性、卒業後の進路等
農学部	植物生産環境科学科	小論文	1,200字以内　90分
		面　接	個人面接　30分程度 日本語能力、志望の動機、これまでの学習・活動、本学科に対する適性（高等学校で履修した英語、理科に関する基礎知識）卒業後の進路、その他
	森林緑地環境科学科	小論文	1,200字以内　90分
		面　接	個人面接　20分程度 日本語能力、志望の動機、これまでの学習・活動、卒業後の進路、その他
	応用生物科学科	小論文	1,200字以内　90分
		面　接	個人面接　30分程度 日本語の読み、書き、表現力の能力、本学科に対する適性（英語、化学と生物に関する基礎知識）、志望理由、卒業後の進路、その他
	海洋生物環境学科	小論文	1,200字以内　90分
		面　接	個人面接　20分程度 志望の動機、これまでの学習・活動、卒業後の進路、その他
	畜産草地科学科	小論文	1,200字以内　90分
		面　接	個人面接　20分程度 志望の動機、これまでの学習・活動、卒業後の進路、その他

※　今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、この募集要項に記載している選抜方法とは異なる方法で実施することがあります。また、出願期間や試験日等についても今後変更することがあります。変更することを決定した場合は、直ちに本学ホームページ上でお知らせします。

７．試験日程及び試験場

試　　験　　日	種　　別	時　　間	試 験 場
教育学部・農学部 令和４年（2022年）11月25日（金）	小　論　文	9:00～	各学部 試験場
	面　　接	11:00～	

（備考）１．受験する科目の試験開始20分前までに試験室に入室してください。
２．試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り受験を認めます。
３．試験日程等の詳細は「受験案内」で通知します。「受験案内」は受験票ダウンロード時に併せて、インターネット出願システムの「申し込み一覧」へ掲載しますので、そちらを必ず確認してください。

８．受験上の注意事項

（1）試験前日までの注意事項

① 試験場については、試験日前日の午後に各試験場の掲示板にて試験室等を確認してください。ただし、建物に立ち入ることはできません。

② 重要なお知らせ等がある場合は、本学のホームページにてお知らせしますので、各自で確認してください。
ＵＲＬ：https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam

③ 交通機関の運行状況等を確認のうえ、代替の移動手段（航空機が欠航した場合に鉄道で移動する等）を確認しておく等、遅刻することのないよう、万全の準備を行ってください。

（2）試験当日の注意事項

① 本学の受験票を必ず持参してください。

② 受験する科目の試験開始20分前までに試験室に入室してください。試験開始後30分以内の遅刻に限り受験を認めます。

③ 試験中は、本学の受験票を机の通路側上に置いてください。

④ 机の上には、受験票、黒鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のもの及びナイフ類を除く。）、直線定規（分度器機能付及び三角定規は不可。線引用のもののみ可）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの（それらの機能の有無が判別しづらいものを含む。）、秒針音のするもの、キッチンタイマー及び大型のものを除く。）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）以外の所持品を置いてはいけません。

⑤ 試験室では監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は、不正行為となることがあります。また、試験時間中に用があるときは手を挙げてください。

⑥ 試験中の退室はできません。ただし、体調不良等の場合は一時退室を認めるが、試験時間の延長は行いません。

⑦ 試験中は、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用してはいけません。また、これらの電子機器類は電源を切り、かばん等に入れ、身につけないでください。身につけていたり手にもっている場合、不正行為となることがあります。

⑧ 試験中に使用してはいけない電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームは設定を解除してください。

⑨ その他、「10．新型コロナウイルス感染症への対応及び留意点」（17ページ）を必ず確認してください。

（3）チャットボットについて
本学ホームページ（https://www.miyazaki-u.ac.jp/）の画面の右下に「もうくんチャットボット」が表示されます。「受験生向けQ&A」には過去の受験生からの質問に対する回答を掲載していますので、ご確認ください。

9．不正行為について

（1）次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての試験の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

① 志願票、受験票・写真票、解答用紙へ故意に虚偽の登録や記入（出願登録時に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
② カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
④ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
⑥ 解答開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
⑦ 試験時間中に、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
⑧ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
⑨ 試験終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

（2）上記（1）以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、（1）と同様です。

① 試験時間中に、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
③ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
⑤ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
⑥ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

10. 新型コロナウイルス感染症への対応及び留意点

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の点に協力をお願いします。

（１）感染防止のための注意事項
日頃から感染防止について心がけるとともに、朝などに体温測定を行い、体調の変化の有無を確認してください。

（２）医療機関での受診
試験日の１週間程度前から発熱・咳等の症状がある受験生はあらかじめ医療機関を受診してください。

（３）受験できない者
①新型コロナウイルスに罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者
②海外から日本に入国して受験する場合で、防疫対策として入国後の待機期間中である者

（４）無症状の濃厚接触者
発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者については、以下の条件のもと、受験できる場合がありますので、下記の問い合わせ先に連絡してください。
①初期スクリーニング（自治体又は自治体から指示された医療機関が実施するＰＣＲ等の検査（行政検査））の結果、陰性であること
②受験当日も無症状であること
③公共の交通機関（電車、バス、タクシー、航空機（国内線）、旅客船等）を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて試験場に行くこと

（５）試験当日における対応
試験当日に発熱や咳等の症状がある受験生は、すみやかに監督者等の本学関係者に申し出てください。該当者には本学が準備した抗原検査キットを使用し、抗原検査を行います。検査の結果が陽性であった場合、受験することはできません。検査の結果が陰性であった場合でも、別室受験となる可能性がありますので、ご承知おきください。
症状の有無にかかわらず、各自マスクを持参し、試験場では、昼食時以外は常に着用すること。何らかの事情によりマスクの着用が困難な場合は、下記の問い合わせ先にあらかじめ連絡のうえ、指示を受けてください。また、休憩時間や昼食時、入退場時等は他者との接触、会話を極力控えてください。

（６）試験当日の服装、昼食
試験当日、試験室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があるため、冬季においては、上着など暖かい服装を持参してください。また、昼食を持参し、自席で黙食してください。

問い合わせ先
宮崎大学学び・学生支援機構入試課
TEL 0985-58-7138

11. 合格者発表

（１）令和４年（2022年）12月９日（金）10時から本学ホームページ(https://www.miyazaki-u.ac.jp/)に合格者の受験番号を掲載し、合格者には合格通知書及び入学手続書類を送付します。

（２）合格者の発表は、合格者本人宛に発送する『合格通知書』が正式なものとなりますので、必ず『合格通知書』で確認してください。

（３）合格者発表に関する電話等の照会には一切応じません。

（４）この帰国生徒選抜では、本学で学ぶための必要不可欠な資質を評価・審査します。そのため、合格者がいない場合があります。

12. 入学手続等

（１）入学手続期間

令和５年（2023年）２月20日（月）まで（17時必着）

上記期日までに入学手続きを完了しない者は、入学を辞退したものとして取り扱います。 原則郵送としますが、やむを得ない事情により郵送で入学手続ができない場合は、事前に連絡の上、来学しての入学手続が可能です。

（２）入学手続方法

合格者は、入学手続期間内に入学手続書類を提出し、所定の入学料を納入のうえ、入学手続を完了してください。

（３）納入金

① 入学料　282,000円

（注１）入学料に改定があった場合は、改定後の入学料を納入していただくことになります。

（注２）既納の入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。

①入学料を払い込んだが、入学手続をしなかった場合

②入学料を誤って二重に払い込んだ場合

※返還にかかる手数料は、原則、納入者の負担とします。

② 授業料　前期分 267,900円　後期分 267,900円　年額 535,800円

（注１）授業料は、新学期開始後にお支払いいただくことになります。

（注２）授業料の納入は、原則として、預金口座からの「口座振替」とします。

前期の口座振替日は、初年度は５月下旬頃、次年度以降は４月下旬頃の予定です。

後期の口座振替日は、10月下旬頃の予定です。授業料に関する事項はホームページ（https://www.miyazaki-u.ac.jp/campus/fees/jugyou/）にてご確認ください。

（注３）授業料に改定があった場合は、改定後の授業料を納入していただくことになります。

（注４）在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

（４）入学手続の際に提出を求める書類等

合格者には、合格通知書、入学手続関係書類を送付します。必要事項を記入のうえ、これらの書類を提出してください。また、本学の受験票を提出してください。

（５）高等教育の修学支援新制度

令和２年度から新設された制度で、以下の２つの支援からなります。

・日本学生支援機構の給付奨学金（原則返還不要）

・入学料・授業料の免除又は減額

対象：住民税非課税世帯・準ずる世帯の学生（留学生や大学院生は対象外）

※申込資格や選考基準（収入や成績の基準）は以下のサイトを確認ください

日本学生支援機構（給付奨学金：申込資格や選考基準）

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/shikaku/zaigaku.html#kakei

（６）入学料免除

次のいずれかに該当する特別な事情により、納入が著しく困難であると認められる者は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の全額又は一部を免除することがあります。

① 令和５年度日本学生支援機構の給付奨学生採用候補者　*高等教育修学支援新制度

② 令和５年度日本学生支援機構の給付奨学金申込み予定者　*高等教育修学支援新制度

③ 入学前１年以内において本人若しくは本人の学資を主として負担している者が大規模災害に被災した場合

※②については、日本学生支援機構給付奨学生の申込資格・選考基準を全て満たしている者に限る

（５）に掲載の日本学生支援機構サイトでご確認ください。

※③の対象となる災害については、令和５年２月中旬頃に本学学生支援関係HP上で通知予定。

（７）入学料徴収猶予

次のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の徴収を猶予することができます。

① 令和５年度日本学生支援機構の給付奨学生採用候補者 *高等教育修学支援新制度
② 令和５年度日本学生支援機構の給付奨学金申込み予定者 *高等教育修学支援新制度
③ 経済的理由により入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合
④ 入学前１年以内において本人の学資を主として負担している者が死亡した場合
⑤ 入学前１年以内において本人若しくは本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合
⑥ 上記④⑤に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

※②については、日本学生支援機構給付奨学生の申込資格・選考基準を全て満たしている者に限る。
（５）に掲載の日本学生支援機構サイトでご確認ください。

（８）授業料免除及び徴収猶予

次のいずれかに該当し、授業料の納入が著しく困難であると認められる者は、本人の申請に基づき選考のうえ、授業料の全額又は一部を免除することがあります。

① 令和５年度日本学生支援機構の給付奨学生採用候補者 *高等教育修学支援新制度
② 令和５年度日本学生支援機構の給付奨学金申込み予定者 *高等教育修学支援新制度
③ 本人若しくは本人の学資を主として負担している者が大規模災害に被災した場合

※②については、日本学生支援機構給付奨学生の申込資格・選考基準を全て満たしている者に限る
（５）に掲載の日本学生支援機構サイトでご確認ください。
※③の対象となる災害については、令和５年２月中旬頃に本学学生支援関係HP上で通知予定。

高等教育修学支援体制、入学料免除・徴収猶予、授業料免除に関する問い合わせ先
宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課　電話：0985-58-7976（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

本学学生支援関係ＨＰ　※最新情報は以下のサイトをご参照ください
https://gakumu.of.miyazaki-u.ac.jp/gakumu/campuslifeinfo/campuslifeinfo.html

（９）奨学金

独立行政法人日本学生支援機構をはじめ都道府県・市町村・各種団体等による奨学金があります。これらはいずれも、人物、学業成績が優秀であり、経済的理由により学資支弁が困難な者を対象に本人の申請に基づき選考のうえ貸与又は給付されます。

また、修学意欲の向上及び学修研究活動の活発化を促し優秀な人材の輩出を図ることを目的とし、学業成績の優秀な学生のますますの活躍を応援するため、本学独自の「夢と希望の道標」奨学金給付制度があります。

高等教育修学支援体制、入学料免除・徴収猶予、授業料免除に関する問い合わせ先
宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課　電話：0985-58-7976（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

本学学生支援関係ＨＰ　※最新情報は以下のサイトをご参照ください
https://gakumu.of.miyazaki-u.ac.jp/gakumu/campuslifeinfo/campuslifeinfo.html

（10）教育用ノート型パソコンの購入・必携化について

国際社会におけるネットワーク化が進む中、「高度情報化時代に対応できる情報処理能力と倫理観を持った人材の育成」が必要となっています。

宮崎大学では、１年次の基礎教育開始時からコンピュータを使った文書作成、データを図表化する方法等の習得、ネットワークを利用して情報を受信・発信する能力の習得等、情報関連の教育を実施しています。また、専門教育に関しても、講義・実験のレポート作成や予習、復習のため、インターネットからの情報収集等が必要不可欠であります。

以上のことから、宮崎大学の教育方針をご理解いただくとともに、学生の皆さんには入学時に各個人でノート型パソコンをご準備していただくようお願いいたします。

追って、宮崎大学で最低限必要とするパソコンの性能等については、入学手続時に再度ご案内いたします。

（11）在学中の保険制度について

本学では、学生が安心して教育研究活動ができるように、学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」）及び学研災付帯賠償責任保険（略称「学研賠」、「医学賠」）を取り扱っています。

「学研災」は、正課中、学校行事中、課外活動中及び学校施設内にいる間、並びに通学中に生じた急激かつ偶然な外来の事故により、加入者が身体に傷害を被った場合に災害補償する制度であり、全員加入することをおすすめしています。（但し、学部によっては別途指示がある場合があります。）また、「学研賠」、「医学賠」は、加入者が教育研究活動中に他人にケガを負わせた場合や、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する制度です。

これらの保険制度についての詳細と加入手続きについては、入学手続書類と併せて送付します。

高等教育修学支援体制、入学料免除・徴収猶予、授業料免除に関する問い合わせ先 宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課　電話：0985-58-7976（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

（12）学生寄宿舎への入居

学生寄宿舎に入居を希望する者（外国人留学生は除く）は、下記①のとおり11月初旬に掲載する「学生寄宿舎入居申請要項」をダウンロードし、同要項にある「入居許可申請書」等を同要項記載の期限までに提出してください。また、ダウンロードできない方は、下記②のとおり「学生寄宿舎入居申請要項」を請求し、同要項に綴り込みの「入居許可申請書」等を同要項記載の期限までに提出してください。提出期限後の申請書は受理できませんので、入居を希望する者は必ず提出期限までに提出してください。

① ダウンロードによる学生寄宿舎入居申請要項の請求について

本学学生支援関係HP（https://gakumu.of.miyazaki-u.ac.jp/gakumu/home.html）にある重要なお知らせの学生生活情報の欄をご覧ください。

② 学生寄宿舎入居申請要項の請求

ア　請 求 方 法：返信用封筒（角形２号、本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、140円分の切手を貼付したもの）を同封し、「学生寄宿舎入居申請要項（帰国生徒選抜）請求」と朱書の上、請求してください。

イ　請　求　先：〒889-2192　宮崎市学園木花台西１丁目１番地
宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課
電話：0985-58-7142

ウ　請 求 期 限：令和５年（2023年）１月４日（水）

③ 学生寄宿舎の概要

寄宿舎名	男子寄宿舎	女子寄宿舎	国際交流宿舎
収容定員	100人	100人	165人
募集人員	5人	5人	5人
入居資格	学部男子学生	学部女子学生	学部学生（男・女）
入居許可期間	1年間（令和5年（2023年）4月～令和6年（2024年）3月） ※4年間を保証するものではありません。		
寄宿料	月額7,000円		月額4,700円
構造	鉄筋コンクリート5階建		鉄骨鉄筋コンクリート8階建
居室定員	1人（個室）		
居室面積	9㎡	9㎡	11㎡
共用施設	補食室（自炊可能）、浴室、洗濯室、トイレ（国際交流宿舎は居室に設置）		
諸経費	光熱水費等　月額　8,000円程度		
所在地	〒889-2155　宮崎市学園木花台西1丁目1番地		

（注1）募集人員には、学校推薦型選抜合格者、総合型選抜合格者、帰国生徒選抜合格者、社会人選抜合格者及び編入学試験合格者が含まれます。
（注2）在学中に寄宿料の改定が行われた場合は、改定時から新寄宿料が適用されます。
（注3）建物内及び周辺に喫煙場所はありません。

13. 個人情報の取扱いについて

（1）個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人宮崎大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。

（2）出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。

（3）入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。

（4）上記（2）及び（3）の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より該当業務の委託を受けた業者において行うことがあります。

（5）出願に当たってお知らせいただいた個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

14．入学試験成績の情報開示

本学では、入学試験の結果について、募集単位（学科、課程、コース等）毎に入学試験実施状況をホームページ等に掲載し公表していますが、試験成績（得点・評価・順位）の個人情報については、受験者本人からの請求に基づいて下記の要領で開示します。

記

１．開示請求者
本学が実施した令和５年度（2023 年度）入学試験を受験した者

２．開示請求の方法
インターネット出願登録サイト上で、出願登録時に「個人成績開示請求」の欄を「希望する」と選択してください。
※個人成績開示請求は出願手続の際に行う必要があります。

３．開示請求期間
令和４年（2022 年）10 月 25 日（火）から 11 月４日（金）

４．開示情報の内容
総合得点による順位

５．開示期間
令和５年（2023 年）５月 15 日（月）から６月 14 日（水）

６．開示の方法
個人成績開示をオンライン上で実施します。
開示期間中は専用サイトに受験番号・生年月日・パスワード（インターネット出願登録時のセキュリティコード）でログインの上、個人成績を確認できます。詳細は令和５年５月上旬頃下記に掲載します。
個人成績開示案内ＵＲＬ：https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/disclosure.html

７．開示請求手数料
１選抜ごとに 800 円を徴収します。入学検定料の支払い時に併せてお支払いください。

８．その他の注意事項
（１）開示期間を過ぎての開示請求は原則受け付けません。
（２）郵送、電話、メール及び学び・学生支援機構入試課の窓口での開示請求については受け付けません。
（３）既納の開示請求手数料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
ア 入学検定料を払い込んだが出願しなかった場合に、入学検定料の返還請求と同時に返還請求をした場合
イ 入学検定料と開示請求手数料を誤って二重に払い込んだ場合に、入学検定料の返還請求と同時に返還請求をした場合

入学試験情報の開示に関する問い合わせ

宮崎大学学び・学生支援機構入試課
電話：0985-58-7138

15. 試験場配置図

宮崎大学（木花キャンパス）入学試験場
N
冬季主風向
夏季主風向
0 20 50 100M
教育学部試験場
教育学部・地域資源創成学部玄関
宮崎大学バス停
学び・学生支援機構
入試課
農学部試験場
正門
門衛所
学園通り線
教育学部・地域資源創成学部
実験研究棟
講義棟
危険物保管庫
車庫
技術・家庭棟
音楽棟
美術棟
教育協働推進センター
留学生宿舎
馬場
厩舎
屋外活動施設
産学・地域連携センター
産学・地域連携研究棟
農場倉庫
温室
イスラーム文化研究交流棟
農場管理棟
消防倉庫
消化グラウンド
体育館
プール付属室
屋外活動施設
廃棄物処理施設
廃棄物倉庫
国際交流会館
男子寄宿舎
女子寄宿舎
国際交流会館
天神・家族棟
カスメータ室
住宅地
テニスコート
多目的トイレ
器具庫
サークル棟
ラグビー場
陸上競技場
野球場
サッカー場
検収センター
大高圧引込
福利施設棟
地域デザイン棟
創立30周年記念交流会館
附属図書館
情報処理センター
中央機器室
発電機室A
ポンプ室
総務局棟
事務局棟
機械実習棟
機械工学実験実習棟
土木工学実験実習棟
高電圧実験棟
乱流風洞実験棟
産学・地域連携センター
（微量分析実験室）
工学部A棟
工学部B棟
工学部C棟
工学部D棟
工学部E棟
電気機器実験・車庫
危険物保管庫
総合研究棟
実験研究棟（北）
実験研究棟（南）
発電機室B
農学部
牛舎2
牛舎1
動物病院
動物舎
バドック
実験研究棟（新室）
フロンティア科学実験総合センター
（遺伝子解析室）
生物資源化学利用実験棟
実験総合センター
（R1.7.1に移転）
環境制御農業実験棟
農業生産物加工実験実習工場棟
農林水産実験棟
ポンプ室
大型水槽
ガラス室
農業工学実験棟
ボイラ室
実験温室
大型及び小型実験棟
給油所
農場管理棟
山王1号池
農場
畜産物生産実習棟
畜産物加工実験実習棟
畜産物保管庫
畜産物研究センター
畜産物研究センター
（R1.7.1に移転）
環境制御農業実験棟
バドック
機械室
土構室
水構室
土構ガラス室
樹木植物温室
配舎

宮崎大学　位置図

【木花キャンパス】教育学部・工学部・農学部・地域資源創成学部
〒889-2192　宮崎県宮崎市学園木花台西１丁目１番地

【清武キャンパス】医学部
〒889-1692　宮崎県宮崎市清武木原５２００番地

宮崎大学までの交通機関

(JR南宮崎駅近く) 宮交シティバスセンター		宮交バス 「宮崎大学・大学病院行」に乗車		約25分
JR清武駅	(徒歩2分)JR清武駅前バス停 (徒歩5分)清武総合支所前バス停	宮交バス 「宮崎大学・大学病院行」に乗車		約15分
宮崎空港		タクシー 宮崎大学まで 約8km		約15分
宮崎港	宮交バス 「宮交シティ行」 約30分	宮交バス 「宮崎大学・大学病院行」に乗車		約25分
宮崎自動車道・東九州自動車道		清武インターチェンジから		約15分

各種問い合わせ先

入試全般	・・・	学び・学生支援機構入試課	（電話 0985-58-7138）
入学手続	・・・	学び・学生支援機構総務係	（電話 0985-58-7427）
授業料納入	・・・	財務部財務課	（電話 0985-58-7122）
授業料免除	・・・	学び・学生支援機構学生支援課	（電話 0985-58-7976）
奨学金	・・・	学び・学生支援機構学生支援課	（電話 0985-58-7140）
学生寄宿舎	・・・	学び・学生支援機構学生支援課	（電話 0985-58-7142）

入学者選抜試験日程　（令和４年（2022年）11月～令和５年（2023年）2月）

帰国生徒選抜

教育学部　　農学部

募集要項の公表　９月中旬

↓

出願期間
11月１日(火)～11月４日(金)

↓

試験日
11月25日(金)

↓

合格発表日
12月９日(金)

↓

入学手続
２月20日(月)まで(必着)

宮崎大学の入試に関するお問い合わせ先

〒889-2192
宮崎市学園木花台西１丁目１番地　宮崎大学学び・学生支援機構入試課
電　　話　　0985-58-7138
ホームページ　　https://www.miyazaki-u.ac.jp/